

施策分析シート（平成28年度）

No1

施策名	地域と連携した学校づくり	施策No	04-09	部課名 課長名	教育委員会事務局指導室 小山	内線 3380
関連部課名	地域文化スポーツ部生涯学習課					
行政評価 事業体系	分野 政策	II 04	子育て教育都市 心豊かにたくましく生きる子どもの育成と生涯学習社会の形成			
目的	地域の信頼に応えることのできる開かれた学校づくりを一層推進していくため、学校運営を支援する。					
指標	幸福実感指標名 (5段階評価)		指標の推移		指標に関する質問文	
			25年度	26年度	27年度	
	① 親子コミュニケーションの充実度	3.92	3.94	4.01	親子の間でコミュニケーションがとれていると感じますか？	
	② 子育て・教育環境の満足度	3.29	3.46	3.46	お住まいの地域における子育て・教育に関する事業・サービス・施設などが充実していると思いますか？	
	③ 地域の子育てへの理解・協力	3.21	3.41	3.37	お住まいの地域に、子育て家庭に対して理解し、協力する雰囲気があると感じますか？	
	④					
	施策の成果とする指標名		指標の推移			指標に関する説明
			25年度	26年度	27年度	
	① 学校評議員会開催回数	170	170	170	170	28年度 見込み (28年度)
	② 年4回以上の外部評価実施率 (%)	100	100	100	100	
	③ 外部評価の公表率 (%)	100	100	100	100	
	④					
	⑤					
現状と課題 (指標分析)	保護者や地域に対して開かれた学校づくりを目指すことは、行政の透明性を確保するとともに、地域からの信頼が得られ、保護者や地域からの協力や協働を引き出すことができる点で有意義である。そのために、学期ごとの参観や全校の学校公開を設けていることは、保護者・地域からの一定の理解が得られている。 学校評議員会については、各学校において評議員を委嘱した上で、定期的に学校を取り巻く課題や改善策を評議し、開かれた学校づくりの推進に寄与している。					
今後の方向性	《今までの成果及び指標分析を踏まえて》 全小中学校において、学校公開や学校評議員会等を積極的に活用して、学校・家庭・地域の連携協力による開かれた学校を推進していく。また、学校のホームページや学校便りを活用した情報公開を推進するとともに、学校評価等を活用して地域や保護者の意見の収集に努めていく。					

施策の分類		分類についての説明・意見等
28年度	29年度	
推進	推進	地域に開かれた学校づくりを推進するため、保護者や地域に対する説明責任を果たすとともに、学校経営の透明性と信赖性の向上を目指す。

施策を構成する事務事業の分類						
事務事業名	事務事業No	決算額（千円）		施策推進のための分類		分類についての説明・意見等
		26年度	27年度	28年度	29年度	
P T A活動支援	12-01-17	639	452	推進	推進	子どもの健全育成を図るため、P T A活動を充実し保護者・教師・地域が連携できる環境を整備する必要がある。
学校関係者評価（学校評議員会、学校評価制度）	12-04-01	1,048	1,016	継続	継続	地域に開かれた学校づくりを推進するため、必要である。
学校パワーアップ事業 (未来を拓く子どもの育成)	12-04-27	16,164	15,937	推進	推進	各学校の一層の創意工夫を促す。
合 計		17,851	17,405			